

## より深く存在すること

---

ステファノ 松永敦 神父

「より多くを所有するよりも、より深く存在することの方が大切である。」これはヨハネパウロ 2 世教皇様の言葉ですが、ひとりのご婦人が「より深く存在する」とはどういうことですか」と尋ねてこられたことがありました。その時、私も分からなかったので、うまく答えられませんでした。そう質問されたおかげで、それからしばらくの間、この言葉は私にとって黙想の為のよい材料となりました。

「より多くを所有するよりも、より深く存在することの方が大切である。」

様々な解釈ができますが、そのうちのひとつとして、この言葉の意味は所有しているものをどう扱うかが大切だといっているのだと思います。多くのものを所有することは決して悪いことではありません。しかし、それを独占して、自分だけのものにしてしまうのではなく、他者と分かち合っていくこと。それがより深く存在するという意味だと思います。

聖書には 5 つのパンと 2 匹の魚を分かち合うことで、5000 人以上の人々が満たされるという物語が載っています。この物語の中でイエス様がされたこと。それはパンを取り、賛美の祈りを唱え、それから裂くという行為です。パンを裂くという行為はミサの中でも非常に大切な意味があります。もし裂かれなければ、パンはひとつのままで一人しか満たすことはできません。しかし、裂けば裂くだけ、小さくはなりますが、数は増え、それだけたくさんの人と分かち合うことができます。そして、パンは裂かれることによって、人と人とを結ぶものとなります。それがパンを裂くことの意味です。

ミサの中で、パンを裂くということにはもうひとつの意味があります。そのパンは最後の晩餐の席で、イエス様が私の体、私の血であると話し、翌日私たちの為に苦しんで死んで下さったイエス様ご自身の体です。ご聖体は、裂かれたパンであり、それは十字架上で裂かれたイエス様の体と重なるものです。パンを裂くという行為は、この命をも与えて下さるほどの、神様の私たち人間への愛そのものを表しています。

ヨハネ福音書によれば、5 つのパンと 2 匹の魚を持っていたのは一人の少年でした。弟子のアンデレはこれではみんなを満たすことはできないとイエス様に助言しています。しかし、キリストを通して、人々は満たされました。私たちも少なくとも、小さくとも恐れず、イエス様に信頼し、差し出して、分かち合うことができますように。